

お知らせ

記者発表資料	令和2年7月20日（月）
配布日時	14:00

■同時発表先：島根県政記者会
出雲市政記者クラブ

令和2年7月13～14日の梅雨前線による降雨における 斐伊川放水路、志津見ダムの効果について【速報】

令和2年7月13日（月）から14日（火）にかけて、梅雨前線にともなう降雨の影響で、斐伊川流域では降り始めからの流域平均累加雨量が120.7mmを記録し、灘分水位観測所等で氾濫注意水位を超過する出水となりました。

斐伊川では、斐伊川放水路を運用することにより、斐伊川下流（灘分地区）で5.8cm、宍道湖で1.2cmの水位低減効果があったと推定されます。

また神戸川では、志津見ダムの運用と河川改修により、斐伊川から分流したものの大きな水位上昇はありませんでした（水防団待機水位以下）。

※斐伊川放水路への分流は平成25年6月完成以降通算で12回となりました。
※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

斐伊川放水路分流堰付近（7/14 10:00時点）



<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長(技) 村松 清

副所長(技) 平井 雅之

【担当】管理第二課長 烏田 和彦

0853-20-1754（直通）

〒693-0023 島根県出雲市塩冶有原町5-1 電話：0853-21-1850(代表)

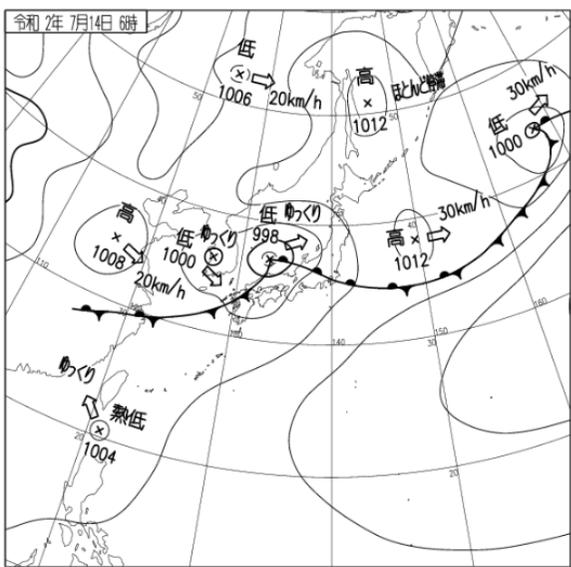
ホームページURL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

令和2年7月13日～14日 梅雨前線の降雨による出水の概要

1. 天気概況

梅雨前線に暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、島根県東部では、7月13日～14日にかけて、ところにより激しい雨が降り続いた。

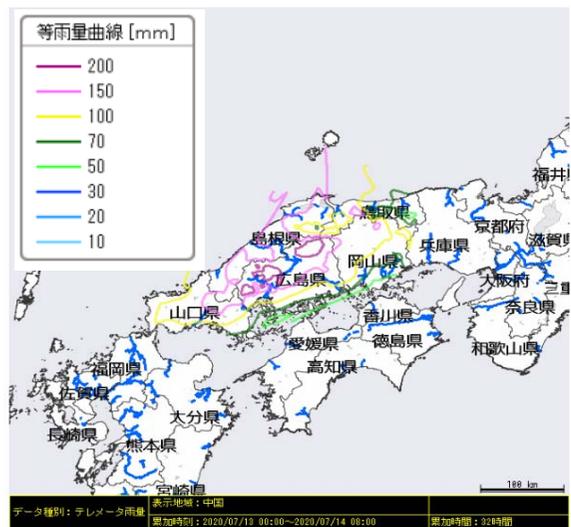
■実況天気図 (気象庁ウェブサイトより)



2. 降雨状況

斐伊川流域では7月13日～14日にかけて激しい雨が降り、斐伊川流域平均累加雨量が120.7mmを記録した。

■等雨量曲線図 (国土交通省作成)



累加時刻:2020/7/13 0:00～7/14 8:00
累加時間:32時間

3. 出水状況

木次観測所(28.4k) 平常時



新伊萱観測所(24.1k) 平常時



7/14 6:30



7/14 6:30



古志大橋(8.45k) 平常時



7/14 6:30



灘分観測所(4.1k) 平常時

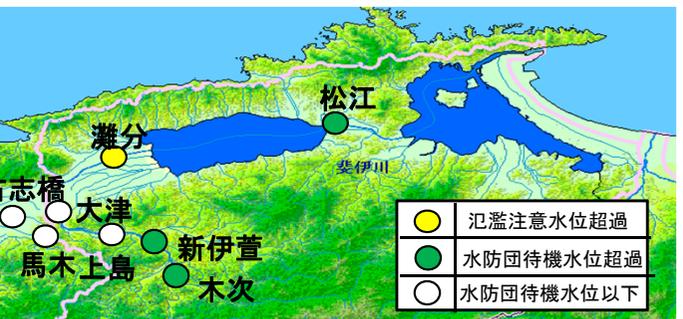


7/14 6:30



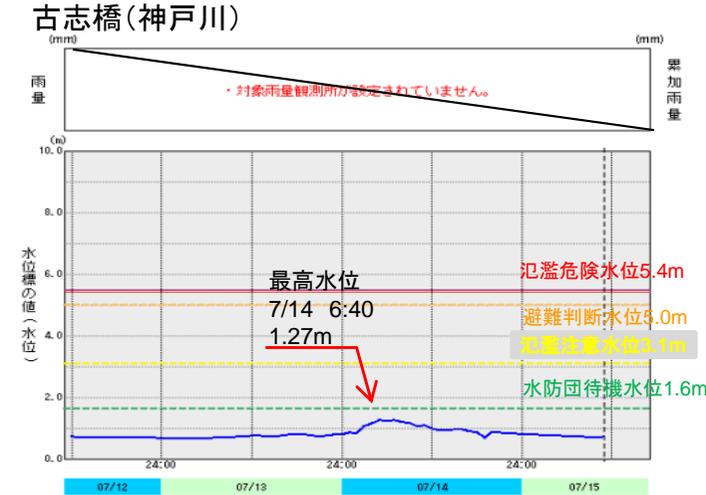
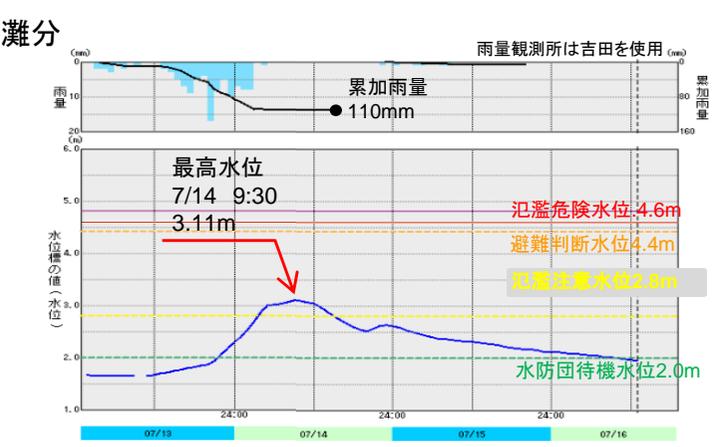
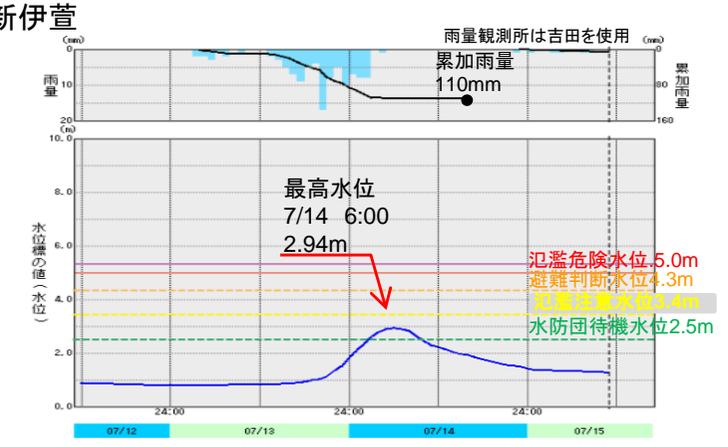
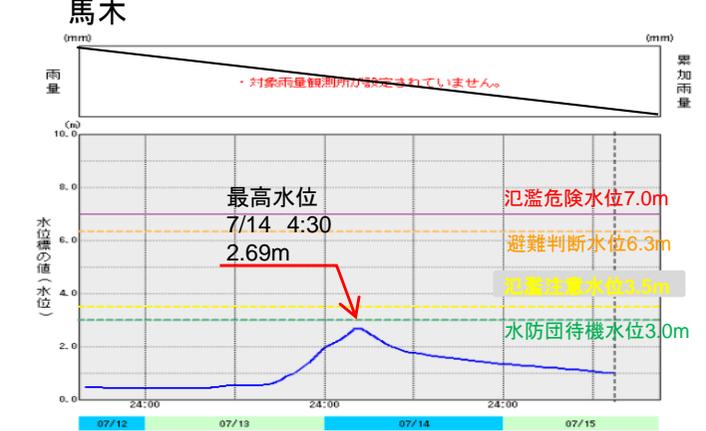
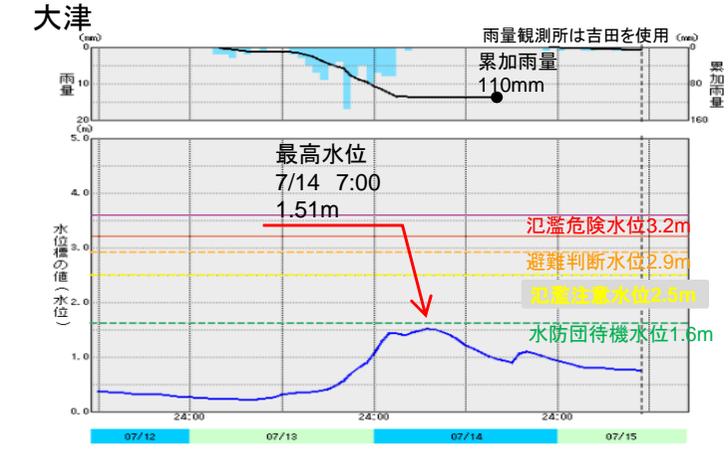
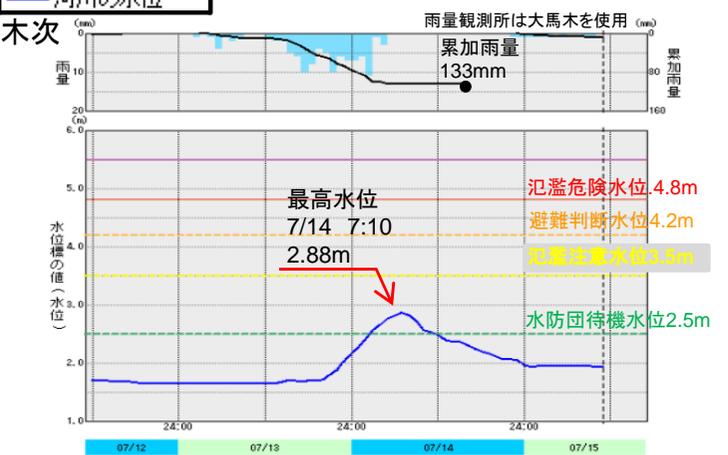
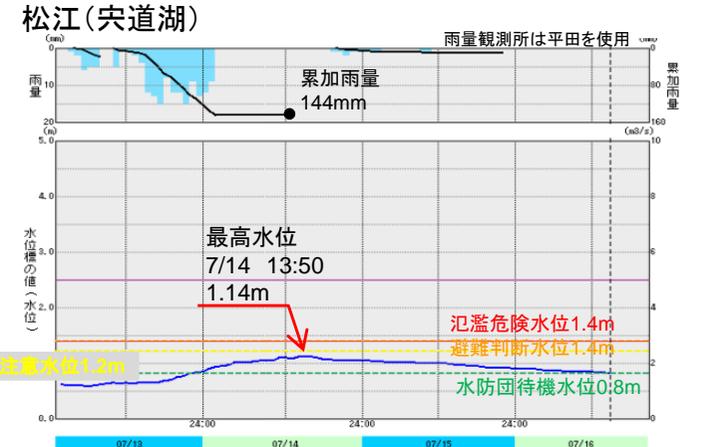
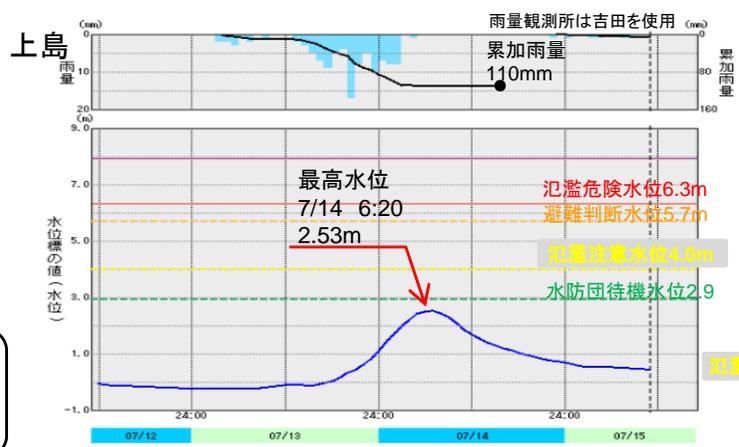
令和2年7月13日～14日 梅雨前線の降雨による出水の概要

4. 各水位観測所の出水状況(国管理)



今回の降雨により氾濫注意水位を超えた観測所は灘分の1箇所。

凡例 計画高水位 氾濫危険水位 避難判断水位 氾濫注意水位 水防団待機水位



令和2年7月13日～16日 梅雨前線の降雨による出水の概要

5. 事務所体制履歴

水防時の河川水位(高潮含む)及び尾原ダム、志津見ダム等の状況に応じて、事務所支部において注意体制、警戒体制をとっております。

日時	体制	理由
7月13日 21時40分	注意体制	灘分水位観測所の水位が水防団待機水位に達し、なお水位上昇のおそれがあるため。
7月14日 3時40分	警戒体制	灘分水位観測所の水位が氾濫注意水位に達し、なお水位上昇のおそれがあるため。
7月14日 15時40分	注意体制	灘分水位観測所の水位が氾濫注意水位を下回り、今後水位上昇のおそれがないため。
7月16日 17時40分	解除	松江水位観測所の水位が水防団待機水位を下回り、今後、水位上昇のおそれが見込まれないため。

6. 水防警報発表履歴

洪水や高潮による災害が発生する恐れがある場合に、水防団などに活動の目安となる水位等の情報を提供しました。

河川名	水位観測所名	待機	準備	出動	指示	待機	解除
斐伊川	木次	7月14日 2時40分					7月14日 12時50分
斐伊川	新伊萱	7月14日 2時50分					7月14日 10時10分
斐伊川	上島						
斐伊川	大津						
斐伊川	灘分	7月13日 21時50分	7月14日 1時10分	7月14日 3時50分		7月14日 15時20分	7月16日 10時10分
宍道湖	松江	7月13日 23時30分	7月14日 5時00分			7月15日 13時10分	7月16日 17時40分
中海	中海湖心	7月14日 8時20分					7月14日 13時20分
神戸川	馬木						
神戸川	古志橋						

7. 洪水予報発表履歴

洪水が発生する恐れがある場合に、気象庁と国土交通省が共同で雨量や水位の情報を周知しており、この度の出水で斐伊川では、氾濫注意水位を超え、更に水位上昇の恐れがあったため、**斐伊川氾濫注意情報**を発表しました。

予報番号	種類	発表日	発表時刻	河川名
1	灘分(出雲市)「氾濫注意水位」	7月14日	4時00分	斐伊川
2	灘分(出雲市)「解除」	7月14日	15時40分	斐伊川

参考

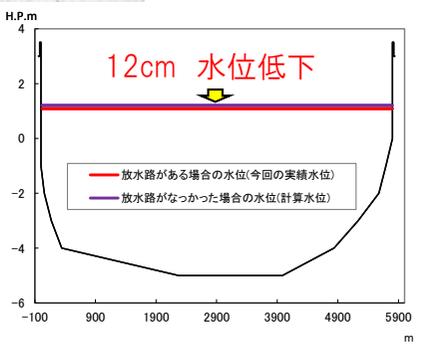
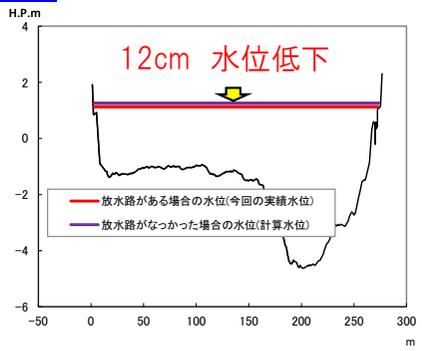
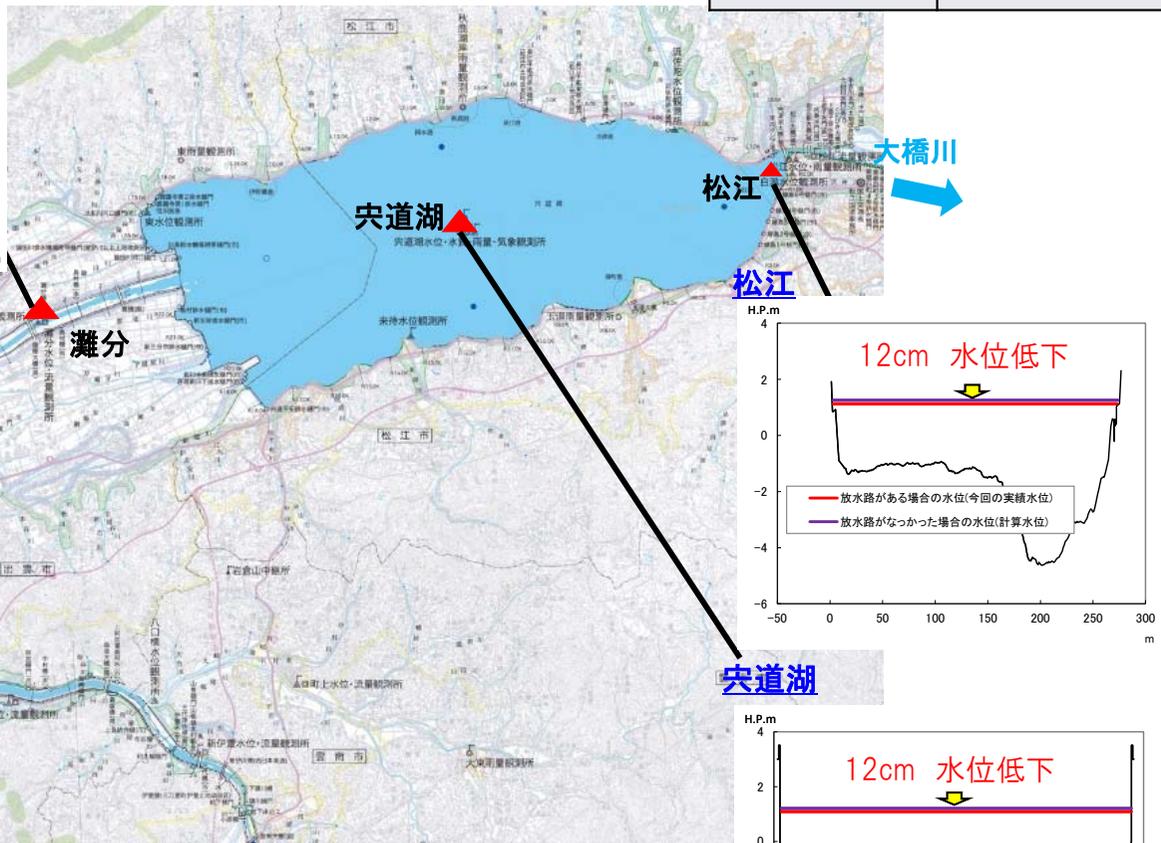
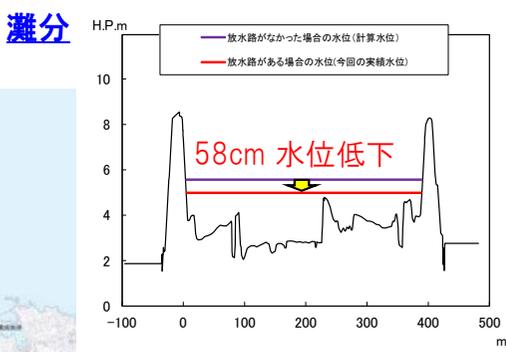
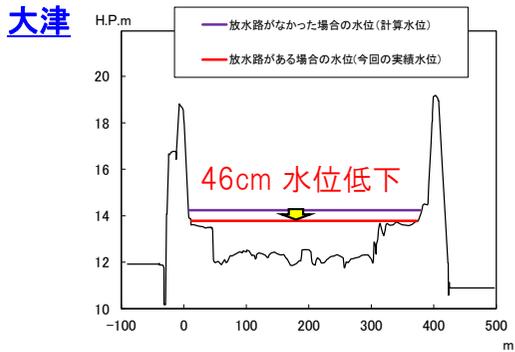
レベル	水位	意味
5	水 位	基準水位観測所における水位の意味 (危険な箇所を設定した以下の水位を、水位観測所地点の水位に置き換えて設定)
4 (危険)	氾濫の発生	
4 (危険)	氾濫危険水位 (特別警戒水位)	【氾濫危険水位】(特別警戒水位) ・市町村長の避難勧告等の発令判断の目安 ・住民の避難判断の参考になる水位 (水位設定の考え方) 計画高水位若しくは、避難のリードタイムから設定される水位のいずれか低い水位
3 (警戒)	避難判断水位	【避難判断水位】 ・市町村長の避難準備・高齢者等避難開始等の発令判断の目安 ・災害時要配慮者の早期避難 ・住民の氾濫に関する情報への注意喚起
2 (注意)	氾濫注意水位 (警戒水位)	【氾濫注意水位】 ・水防団の出動の目安
1	水防団待機水位	

しつみ ひいかわ ほうすいろ 志津見ダム及び斐伊川放水路の整備効果

速報

- 志津見ダムでは、最大流入量毎秒約156m³時に毎秒約45m³低減し、ダム下流の馬木観測所地点で、ピーク水位を10cm低減させる効果があったものと推定。
- 斐伊川放水路では、分流を実施し、最大毎秒約370m³を分流。斐伊川本川下流の灘分観測所で、ピーク水位を58cm、松江観測所で12cm低減したものと推定。

観測所名	ピーク水位低下量
大津(おおつ)	46 cm
灘分(なだぶん)	58 cm
宍道湖(しんじこ)	12 cm
松江(まつえ)	12 cm
馬木(まき)	10 cm
古志橋(こしばし)	4 cm



※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。
ダムなし、ダム・放水路なしの水位は推定値です。
尾原ダムについては、流入量が洪水流量(300m³/s)に達さなかったため、洪水調節は行っていません。

斐伊川放水路の整備効果（令和2年7月13～7月14日）

速報

○今回の出水において、斐伊川放水路へ**分流**し、**斐伊川本川下流への洪水流量を低減**しました。
神戸川は、大きな水位上昇もなく、安全に洪水を流すことが出来ました。

＜今回の出水による斐伊川放水路の運用状況について＞

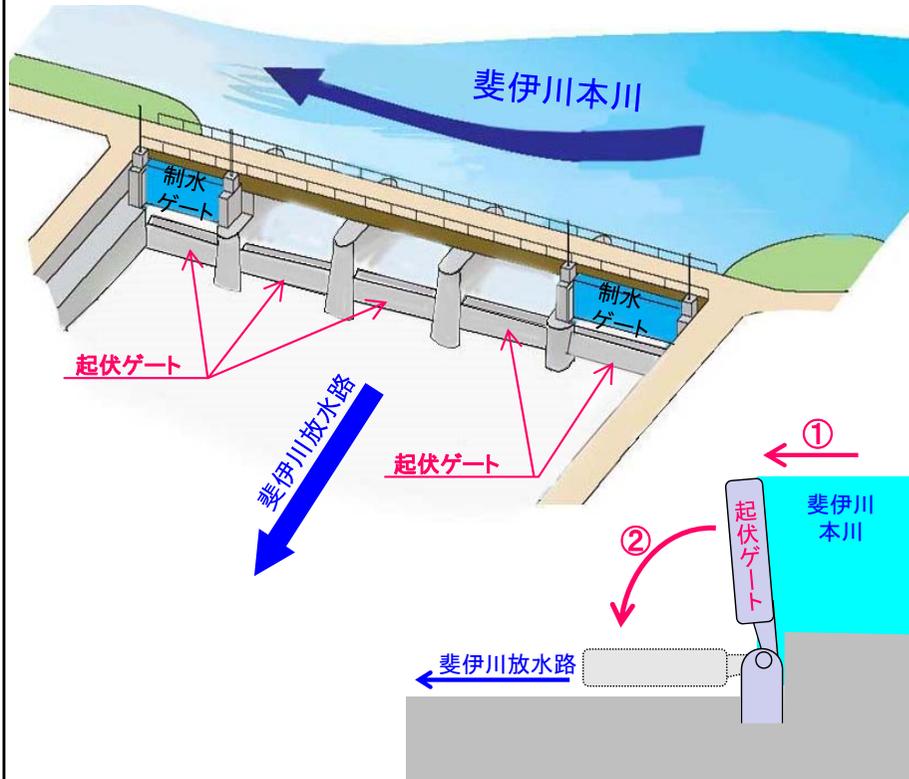
■ 7月14日

□ 斐伊川放水路への分流

- ・ 7月14日 0時50分頃に分流（自然越流）が始まりました。
- ・ 7月14日 1時30分より分流堰起伏ゲートの倒伏操作を開始。
- ・ 7月14日18時51分頃に分流が終了。

※分流は分流堰地点の流量が

- ①毎秒400m³程度で斐伊川放水路に越流開始します。
- ②毎秒500m³でゲートの倒伏操作を開始します。



回数	分流開始	分流終了	【流量は速報値】	
			斐伊川本川 (上島観測所) 最大流量	最大分流流量
1回目	平成25年 9月 4日 5時30分頃	平成25年 9月 5日 4時10分頃	約1,250m ³ /s	約550m ³ /s
2回目	平成25年10月24日 15時30分頃	平成25年10月25日 23時20分頃	約530m ³ /s	約200m ³ /s
3回目	平成26年 8月17日 12時50分頃	平成26年 8月18日 0時10分頃	約700m ³ /s	約270m ³ /s
4回目	平成26年10月13日 23時45分頃	平成26年10月14日 4時52分頃	約440m ³ /s	越流のみ※
5回目	平成29年 9月17日 22時27分頃	平成29年 9月18日 15時40分頃	約750m ³ /s	約290m ³ /s
6回目	平成29年10月22日 21時30分頃	平成29年10月23日 18時15分頃	約1,200m ³ /s	約470m ³ /s
7回目	平成30年 7月 5日 19時56分頃	平成30年 7月 7日 23時 5分頃	約1,550m ³ /s	約590m ³ /s
8回目	平成30年 9月30日 10時35分頃	平成30年10月 1日 16時00分頃	約1,700m ³ /s	約670m ³ /s
9回目	令和 2年 6月13日 14時25分頃	令和 2年 6月13日 23時00分頃	約630m ³ /s	約210m ³ /s
10回目	令和 2年 6月14日 8時55分頃	令和 2年 6月14日 14時00分頃	約480m ³ /s	越流のみ※
11回目	令和 2年 6月14日 17時38分頃	令和 2年 6月15日 3時50分頃	約730m ³ /s	約240m ³ /s
12回目	令和 2年 7月14日 0時50分頃	令和 2年 7月14日 18時51分頃	約1,130m ³ /s	約370m ³ /s

※堰を越流したのみで、ゲートは倒していません。



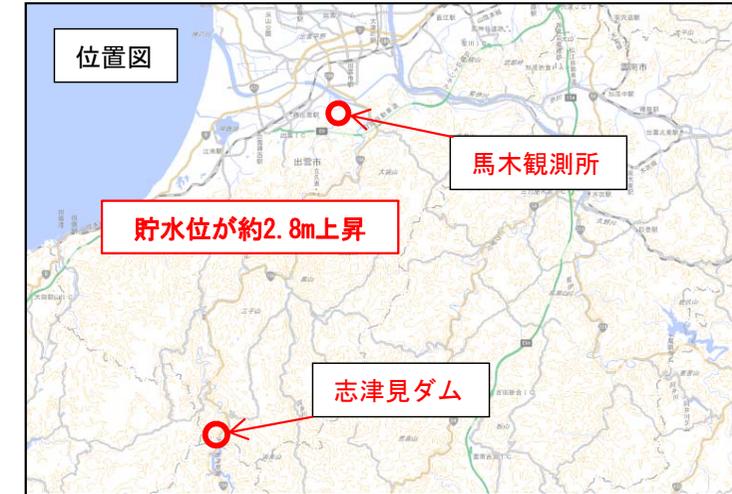
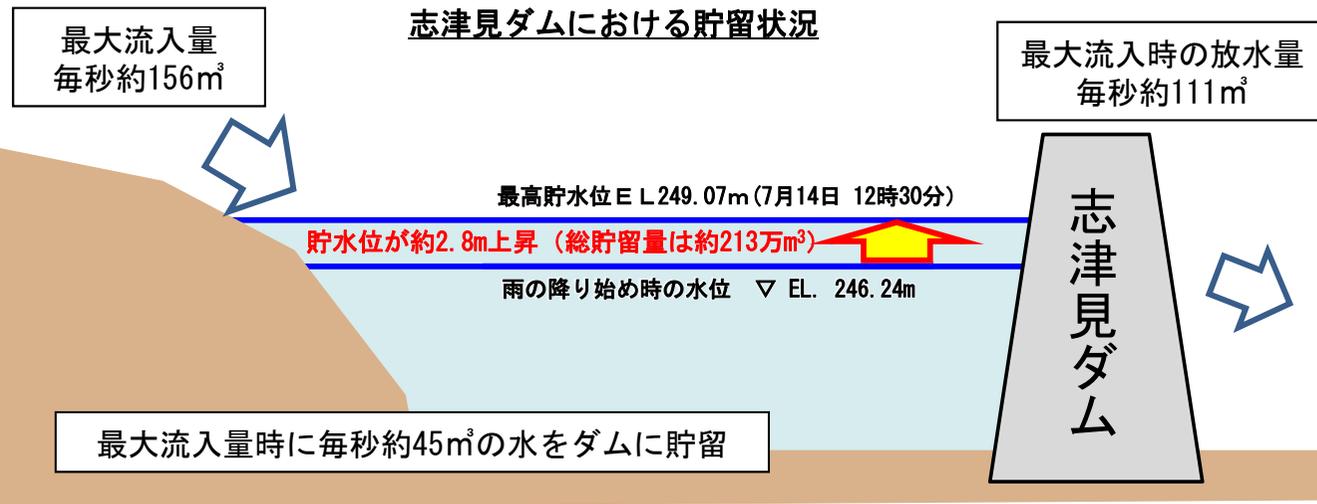
※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

志津見ダムの整備効果（令和2年7月13～14日梅雨前線）

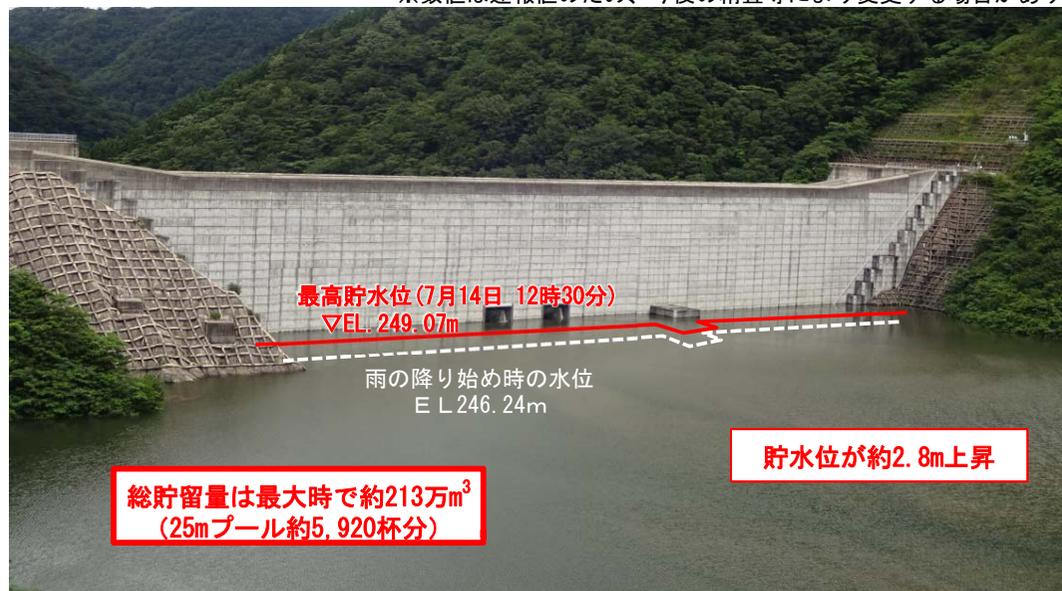
速報

- 志津見ダム上流では、流域平均累加雨量157mmを記録しました。
- 今回の降雨による志津見ダムへの流入量は**最大毎秒約156m³**に達し、この際**毎秒約45m³**を志津見ダムに貯留しました。今回の出水により、志津見ダムに貯留した洪水は**最大約213万m³**（25mプール※の約5,920杯分）です。
- その結果、志津見ダム下流の馬木観測所地点（出雲市馬木付近）で、**ピーク水位を10cm低減させる効果があったものと推定**。

※ 小学校のプール容量：長25m×幅12m×深1.2m=360m³として換算



※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。(m)



志津見ダムにおける整備効果

